



曾谷の風

学校教育目標「『ゆめ あすから』チャレンジする子どもたち」

市川市立曾谷小学校
校長 田部井 伸郎

[→爽風学園ブログはこちら](#)

[→学校ホームページはこちら](#)

曾谷っ子の合言葉 「元気・本気・勇氣」～3つのキを育てよう～



6月になりました。

新学期が始まって約2か月が過ぎました。私としてはあっという間でしたが、お子さんや保護者の皆様にとってはいかがでしょうか。学校での様子を見ていて、子どもたちは、かなり新しい学年、新しい担任、新しい学級に慣れてきたようです。

さて、始業式で子どもたちと交わした「329人の顔と名前を覚える」という約束のお話を5月①号に載せましたが、約束を果たせそうな見通しが持っています。毎朝校門であいさつ、毎日どこかの時間には各クラスにお邪魔して授業参観をしていますので、今のところ、9割以上覚えたところです。

しかしまだまだ全員ではないですし、覚えたとしても、子どもはしばらく顔を見ないと、すぐ顔つきも変わってきますので、全員をしっかりと覚えるには、不断の努力が必要となります。しっかりとやっていきたいと思っています。

今月どうぞよろしくお願いいたします。

スマイルカフェ

「スマイルカフェ」をご存じでしょうか？

これはシニアの“フレイル予防”（病気ではないが年齢とともに筋力や心身の活力が低下する、健康と要介護の間の虚弱な状態を予防する）体操を、おしゃべりを交えながら楽しく行うものです。

学校の地域貢献、学校地域連携の一環として、本校1階のスマイルルームを週に1回（木曜の10時～11時半）お貸ししています。

皆さんが集まれる格好の場所がなかったとのことで、たいへん喜んでいただいております。直近では5月30日（木）に開催されました。毎回20名以上の地域の方々が集まり、楽しく体操をしています。



山王マルシェ



先日の運動会の翌日、山王公園にて「山王マルシェ」が開催されました。

キッチンカーなど約20店舗が出店し、たくさん子どもたちが集まりました。

残念ながら「ダイコン爺さん」は来られませんが、「激神ザンドー」は人気でした。

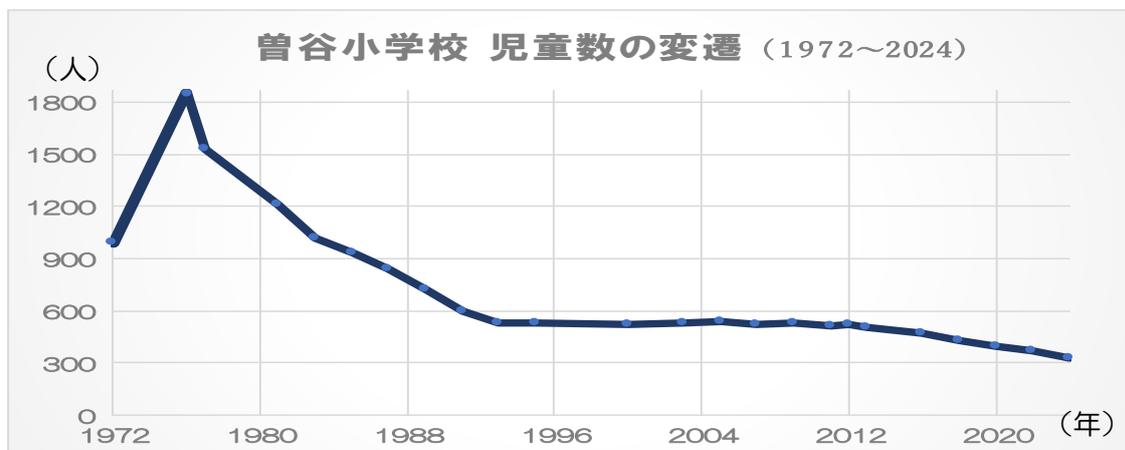
今回周知にご協力させていただきましたが、今後も、「学校を核とした地域コミュニティづくり」に貢献できるよう、学校として協力していきます。

曾谷小の歴史

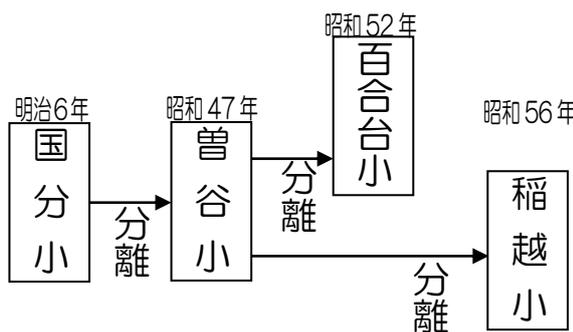
今月、とある必要がありまして、曾谷小学校の創立からの沿革を確認していました。それでわかったことは、多くの方にとって大規模校のイメージがない曾谷小学校ですが、その昔は、大規模校をはるかに超える「過大規模校」であったことがわかりました。

一般的に**適正規模**と言われる中規模校とは、12～18 学級ですから、35 人学級で換算すると、児童数 400 人～600 人です。現在の曾谷小は 13 学級 329 人ですから、学級数で見ると中規模校の少ない方、児童数では 400 人に満たないので、小規模校と言われる分類になるでしょうか。

しかし昭和 51 年度（1976 年）にはピークの、44 学級 1,855 人が曾谷小学校に通っていました！これにはたいへん驚きました。現在、市川市内で最も多い学校が 900 人を超えるぐらいです。ということは、現在最も市内で大きい学校の、さらに 2 倍ですね。現在の曾谷小の約 6 倍の子どもたちが通っていました。



校舎には現在空き教室がたくさんありますので、その名残を感じることはできますが、校庭も体育館も創立当初から変わっていないはずですよ。休み時間にはどうやって遊んでいたのでしょうか。体育館の割振りは、どのように組んでいたのでしょうか。また、今は 1 学級 35 人ですが、当時は 45 人学級。いろいろどうやっていたのでしょうか。いろいろ考えました。



曾谷小学校は昭和 47 年度（1972 年）、**国分小**から分離して創立されました。創立後、1,800 人を超えますが、その後に曾谷小から分離する形で**百合台小**ができ、さらにその後に曾谷小から分離で**稲越小**ができました。このように、2 つもの学校を分離する形で、現在の小規模校の人数に落ち着いています。

小規模校の強み

小規模校には強みがあります。教職員の目が届きやすいので手厚い支援が可能であること、保護者もお子さんの学年でなくても顔を知っている子が多い（小さいからこそその家族的な雰囲気がある）こと、なかよしグループ（1 年～6 年を 28 グループに分けて作る縦割り活動。1 グループは 11 名～12 名。別の機会にご紹介します）、校庭を存分に使える、などなど。これらは小規模校でなければ難しいでしょう。まさに小希望校の強みです。

曾谷小学校の歴史を踏まえたうえで、現在の曾谷小学校の強みをいかに発揮した学校運営に努めてまいります。「チーム」として保護者の皆様、地域住民の皆様、今後ともご協力のほどお願いいたします。